

令和7年度 学校だより No.6

# 南陽の丘

※「南陽の丘」は校歌より命名しています

8月 August

はづき  
葉月

令和7年 8月 9日

長与町立長与南小学校

文責 校長 平村 美恵子

## 8月9日に祈る

連日暑い日が続いておりますが、お元気でお過ごしでしょうか。

本日、8月9日は、長崎で暮らす私たちにとって特別な日です。

80年前の今日、昭和20年（西暦1945年）8月9日、午前11時2分、長崎の空で原子爆弾が爆発しました。その原子爆弾によって、長崎の町は焼き尽くされ、約7万4千人もの尊い人の命が奪われました。生き残った方も約7万5千人が大怪我を負いました。



また、原子爆弾の持つ「放射能」により、何十年も経った今でもその病気で苦しんでいる人がいます。

長崎県内の多くの学校は、この日を全校登校日として位置付け、平和の尊さについて改めて考え、平和を守り育てようとする心情や態度を育てる学習を行います。本校においても平和集会（暑さ対策のため、各学級でのリモートによる集会としました）を行い、5年生の平和学習の成果を聞いたり、それぞれの学年・学級で平和について考えたりしました。そして、それぞれの学級で11時2分に黙とうを行いました。ぜひ今日の学びについてお子さんに尋ね、ご家庭でも平和について話題にしてください。

私が今日子供たちに話したことはこの2点です。

1つめは、戦争（原爆）を直接経験した方から直接お話を聞くことができる機会がだんだんと減っていくこと。だからこそ私たちが学び、思いをつないでいく努力をすることが大切だと考えていることです。

そしてもう1つは、未来を創る子供たちに、一人一人がそのように思いをつないでいく人になってほしいということです。広島の式典で「平和への誓い」を話している、「大人だけでなく、子供である私たちも平和のために行動することができます」という堂々とした児童の姿に感銘を受けました。今日の平和祈念式典で「クスノキ」を歌う城山小と山里小の子供たちをみても、未来を創るのは子供たちだと未来に希望がもてました。平和な社会を築くのは一人一人の平和を希求する心と行動です。それは日々の生活の中で醸成されていくものと思います。学校でも子供同士のよりよい人間関係の構築、互いを認め合うことや互いに高め合うことを全ての教育活動で推進していきます。ご家庭でも折々に家族や友達など身近な人への優しい関わり方などアドバイスをしてあげてください。

## 健康第一 ～熱中症対策&事故にあわないように～

夏休み前半は、ほぼ毎日、熱中症警戒アラートが発出されていきました。ニュースでは、気温が40度を超えたとか、観測史上最高という言葉をよく耳にしました。夏休み後半も厳しい残暑が続くようです。外出するときには帽子の着用や水筒の持参といった熱中症対策を行ってください。また、水の事故や交通事故で子供の命が奪われる報道が出るたびに心が痛みます。地震による津波や大雨等災害も心配しているところです。どうか後半も安全に過ごせますよう、ご家庭でもご指導ください。